

西部支部主催 適切なケアマネジメント手法、基本ケア実践研修報告書

主催 一般社団法人 徳島県介護支援専門員協会 西部支部

対象者 介護支援専門員、ほかに主任介護支援専門員 保険 医療 福祉関係者など

日時 1日目令和6年10月3日（木）13：30～16：40 参加者15名

2日目令和6年12月5日（木）13：30～16：00 参加者14名

3日目令和7年3月6日（木）13：30～16：30 参加者14名

（3日目は積雪のため日程を変更）

会場 1日目～3日目共通 サンコーファーマシーカルチャーセンター

内容 「適切なケアマネジメント手法」項目の読み込み、自己点検・現場での実践（情報収集、モニタリング等）・現場実践の振り返り・今後の実践方法の検討 等

講師 四宮 明子 氏（樋居宅介護支援事業所）

タイムスケジュール

1日目 13：30～13：40 開会 本日の進め方 13：40～14：15 講義（「適切なケアマネジメント手法」の概要） 14：15～14：40 演習（基本ケアの捉え方） 14：40～14：50 休憩 14：50～15：05 講義（実践研修の流れとねらい） 15：05～16：00 演習（事例の掘り下げ体験） 16：00～16：35 講義（事例選定と次回グループワーク進め方） 16：35～16：40 まとめ

2日目 13：30～13：35 開会 進め方の説明 13：35～15：35 演習（現場実践の振り返り） 15：35～15：55 講義（次回グループワークの進め方） 15：55～16：00 まとめ

3日目 13：30～13：35 開会 本日の進め方 13：35～15：45 演習（現場実践の振り返り） 休憩を含む 15：45～15：55 実践状況の総括 15：55～16：25 演習（今後の実践宣言・振り返り） 16：25～16：30 閉会

【研修の結果】

西部では、講義や動画での説明の後、受講者をおよそ4名ずつ4つのグループに分けての演習を行った。適切なケアマネジメント手法の基本ケアの研修を初めて受ける受講生も多かったが、各開催日とも、熱心且つ主体的にグループワークに取り組むことができた。実際担当している事例を通して、2回目、3回目と重ねることで、基本ケアの内容や探し方、ケアマネジメント業務への取り入れ方が理解できるようになり、意見交換が活発に行えていた。実践報告では、基本項目からの気づきによって利用者の意欲が向上したり、ACPに繋がったり、水分摂取量の少なさに気づいて対応したりするなど、どの事例でもアセスメント内容や利用者自体に変化が現れた様子が確認できた。受講者からは「これまでの自分のアセスメントに抜け漏れがあったことに気づけた」「グループワークが楽しく内容が理解しやすかった」「メンバーから貴重な意見が貰えた」という意見が聞かれ、研修の満足度も高かった。3日目には雪による急な日程変更等もあったが、研修の間隔を広く開けていたこともあり、結果的に更にじっくりと事例の利用者さんに向き合う期間となった。「今後業務に活かしたい」という意見が多かったことから、全体的に有意義な研修となったと考える。



研修会の様子